

# 労働時間の柔軟性が高ければワーケーションの可能性は広がる

## <働く時間の柔軟性が低い場合の例>

地方出張 + 地方でのテレワーク + 余暇 (+ 宿泊)

旅先であっても  
所定労働時間は勤務

~9:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00~
移動	客先訪問・研修等			昼食	オンライン会議	資料作成		地域観光/夕食			移動	
						テレワーク						

## <働く時間の柔軟性が高い場合の例>

地方でのテレワーク + 中抜け/時間単位年休 + 余暇 (+ 宿泊)

フレックスや時間単位  
年休を利用した  
中抜けを認める

~9:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00~
移動	テレワーク			昼食	時間単位年休 /地域観光		オンライン 会議	地域観光/夕食			移動	
												